

特別掲載

山崎 一真 先生

彦根景観フォーラム理事長

## 琵琶湖世界の地域デザイン

(滋賀大学退職記念講演会より)

近江は「琵琶湖世界」とも言うべき奇跡の小宇宙です。

そのしつらえは、湖面の広がり、対岸の稜線、際立つ季節感、地域らしい風情。街道を通じた地域の、水を介した山と湖のつながりなどから成っています。

そのしつらえを生かした長年の生業を通して、見事な山林・里山・田園・湖辺が創り出されました。縦横に走る街道の往来を通して、時代を画する英傑や近江商人などの輩出をみました。

自然と歴史と文化が一体となった、近江の壮大な文化的景観が形成されたのです。



この素晴らしい琵琶湖世界が、美しい年輪を積み重ねて、次世代に継承されていく。このような持続的発展の仕組みづくりを急がねばなりません。

市場機能がグローバルに強く働くようになった今日、地域の固有性維持の困難さが増しています。

一方で、地方分権改革によって、地域の固有性維持を自己決定できる可能性が高まっています。

つまり、これら相反する二つの力をコントロールすることによって、地域の持続的発展に結びつける仕組みが創れるのです。

そこで登場するのが地域デザインです。「地域の持



続的発展に向けて、構想・計画などを企画考案し、その実現に向けて関係者に働きかけ、法制度の整備や自己組織化などの実践活動を行う」

というものです。

地域組織を立ち上げ、独自の構想を掲げて地域課題に立ち向かい、社会実験とその成果の確認に立って、新たな挑戦を続ける。このような一連の挑戦の連なりを地域発達と呼んでいます。このダイナミズムが地域に根付けば、以降は持続的発展の過程を辿るでしょう。

地域デザイナーの役割は、きっかけをつくり・それを支え・自立を促し・見守る、このような地域発達の介添者なのです。多くの知識と経験、人や組織とのネットワークを必要とし、何よりも、やり抜く意思と気概が大切になります。

街の駅、足軽辻番所、里の駅などの活動は、この地域デザインの具体的な事例という側面を持っています。



**彦根景観フォーラムとは・ ・ ブログ** <http://hikonekeik.exblog.jp>

彦根のまちについて夢を語り合い、まちづくりを楽しむNPOです。大学の教員、建築家、会社員、商店主、公務員などが集まり、知恵と力を合わせて活動しています。詳しくは**ブログ**をご覧ください。

● **ご連絡** e-mail: [hikonekeikan@hotmail.com](mailto:hikonekeikan@hotmail.com) まで

● **定例会** 毎月第2水曜日 午後7時～9時 滋賀大学陵水会館 誰でも自由に参加できます。

● **お問い合わせ** : 彦根景観フォーラム事務局 TEL 080-1416-5968/0749-27-1141 FAX 0749-27-1431



# きらっと彦根 vol.20

彦根の魅力★再発見

彦根まちづくり誌 2010年4月10日 通巻20号 編集/発行 NPO法人 彦根景観フォーラム

## 多賀里の駅 集い&野菜市

### ●一圓屋敷の調度品調査からわかったこと

3月6日(土) 滋賀県立大学 市川秀之先生

一圓屋敷の調度品では、接客用食器の多さに特色があり、古くは文化元年(1804年)の食器が大切に継承されていると話されました。また、のぞきからくりの現物、天保9年(1838)小沢華獄の作と思われる「おかげ詣りの絵」などが新たに紹介されました。



### ●蕎麦を使った料理と季節を楽しむフキノトウ



多賀産そばの実を使った「多賀そばのリゾット」と「多賀そばガレット」を、鳥居本の宮原さんに作っていただきました。フキノトウは「春のサラダ・フキ味噌添」(レタス・ルッコラ・レッドマスタード・多賀にんじん)で楽しみました。



### ●4月3日(土) 春を楽しむ・雅楽とお茶会

毎月第1土曜日 10:30~ 参加料500円

## それぞれの彦根物語

ひこね街の駅「寺子屋カ石」《談話室》

第72回は、3月20日(土)『小川』の見聞録と題して、滋賀県立大学博士課程に学ぶ中国人学生ショウショウさんが、アルバイト、台風、地震などいろいろな初体験を語ってくれました。

ショウさんの願いは、中国と日本が心を開いて理解

し合うこと。拒む、疑う、否定することから、握手をし、お辞儀をし、感謝をする関係になりたい。そして最後に大事にしている『開心』という言葉をプレゼントしてくれました。



次回は・・・【彦根物語73】

4月17日(土) 10:30~

パキスタン山村の子どもたち

—武力で平和は訪れない—

語り手 督永 忠子さん

## 辻番所サロン・芹橋生活のお知らせ

日時：5月16日(日) 10:30~12:00

場所：彦根市芹橋2丁目太田邸にて

語り手：鈴木ゆみさん(『湖国の源氏物語』の著者、旧芹橋14丁目出身)

テーマ：「美しい日本語を大切に」：城下にある彦根西中学校の校歌の話、戦後の芹橋生活の話など。

## まち路地再生のデザイン

路地に学ぶ生活空間の再生術

城下町の町割りを残す彦根には、狭い路地をどう整備するのかという課題があります。生活空間として見直されている「路地の再生」。青木 仁さん(東京電力技術研究所主任研究員)が3月30日(火)滋賀大学で、芹橋まちづくりの新たな提案をされました。大



変示唆に富んだお話でした。詳しくは、彦根景観フォーラムのブログで紹介します。

特集：歴史的景観を活かしたまちづくりセミナー  
芹橋の歴史まちづくりを考える

● 特別掲載 滋賀大学退職記念講演会  
琵琶湖世界の地域デザイン 山崎一眞